

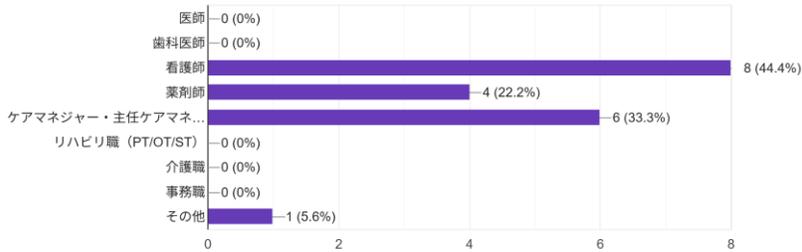
横浜市疾患別医療介護連携事業 緩和ケア 多職種向け研修

『支援者と患者の心に寄り添うケア』講師：玉置妙憂先生

令和7年7月2日アンケート集計結果 参加者42名(アンケート回収率52%)

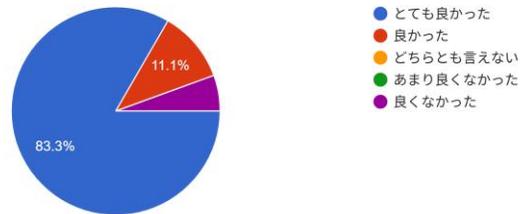
職種を教えてください(複数可)

18件の回答



本日の講演について感想をお聞かせください。

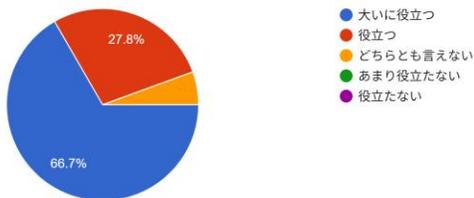
18件の回答



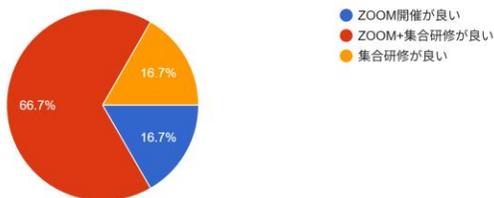
左記回答についてご意見をお聞かせください。(回答より抜粋)

- ・ 支援者側の安定の保ち方について、具体的なアドバイスを聞くことができました。
- ・ スピリチュアルケアといっても方法どころかどんなものかも分からず。ただ漠然と心に寄り添う大事な手法と思うだけで説明がつきませんでした。
- ・ 今回の研修では本当にわかりやすく教わりスッキリしました。
- ・ 何度聞いても理解度100%にはなりません、繰り返しこのテーマの話聞くことで、自分も救われている感じです。
- ・ わかりやすくも心に残る内容でした。
- ・ 私の目をじっと見て「何故わたしなの？」と言われるたびに 答え探しに彷徨ってきました
- ・ 不条理な世の中の意味はわからないままですが 相談職を続けて来れています。玉置先生 どうもありがとうございます
- ・ ケア者の在り方として、ロウソクが燃えるために必要な空気のような存在であることというお言葉がとてもしっくりきました。また、答えがないものに向き合おうとすることは自分自身と向き合うことであると学びました。以前「共感とはするものではない、共感してもらえたと相手が判断することだ」とある人から学びました。看護師はとにかく結果を求めてしまいがちで、待つことが苦手だと感じます。看護師としての責務とグリーンケアを両立させるにはどうすればいいのか悩んでいましたが、メモをやめたり座り直したりすることで場を作ることができるのだと知り感激しました。
- ・ 相手の思いに寄り添うための聴き方が分かった。
- ・ すごく共鳴できるお話で良かったです。
- ・ 寄り添うとは、という意味を深く考える時間になりました。
- ・ 看護師として働く中で、患者さんに対しての精神的なケアの必要性は日々受け取り、傾聴やお話しをする中で、あれでよかったのか、どう返せばよかったのかともやもやとした気持ちがあり、講習に参加させていただきました。この度の講習で、スピリチュアルケアということがどういうことなのかを知ることができました。看護師という立場をおいて聞くというのは意識したことがなかったので、考えさせられました。また、自身とても負荷のかかるもので、自身が整っていないからならないということ意識することは、日々の仕事のなかでも大切なことだと認識することができました。これを機に、スピリチュアルケアを深めていきたいと思いました。

この講義は日頃の業務に役立つ内容でしたか。
18件の回答



今後の開催方法はどのような形が良いと思いますか
18件の回答



上記回答についてご意見をお聞かせください。

(回答より抜粋)

- 今回は、研修の冒頭に音声や画像が動いていなかったのが残念でした。
- 内容によって使い分ける形が現実的かと。集合の方が良い内容もあるでしょうし。
- 家庭の状況的に直接参加が難しい場合もあるのでオンラインがあると助かりますが、今回はネット環境のせいか所々無音やフリーズがあったので勿体なかったです。
- 仕事都合に合わせた選択があるととても助かります
- できる限り対面での研修に参加しておりますが、日程によってはオンラインでしか参加できないこともあります。選択肢があると助かります。
- (会場だと) 講師の方の話のニュアンスだったり、場の雰囲気がわかるので。
- zoomがあると子どもがいるので参加しやすいです
- 時間帯によって、どちらに参加するか選べると助かります。
- 会場で出席することがなかなか難しいから。

今後の研修で取り上げてほしいテーマがありましたらご記入ください。 (回答より抜粋)

- 困難事例の紹介と対処法。
- 医療・介護に特化した接遇研修は可能ですか？
- 病院 施設 在宅 などの相談援助職間の連携が深まる研修があったら 大変ありがたいです
- 医療従事者の燃え尽き症候群予防のためのプログラムG.L.A.C.Eに興味があります。現在戸塚共立第一病院の非常勤である高宮有介先生が第一人者です。
- 家族対応について
- ぜひ『フェイモウ』を鑑賞したいです。

皆様ご協力ありがとうございました。

一部音声・画像のトラブルがあり大変申し訳ありませんでした。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

戸塚区在宅医療相談室